

### 1 - 3 北海道幌延地区の地殻水平歪

#### The Earth's Horizontal Maximum Shear Strain in the Horonobe District, Hokkaido, Japan

国土地理院地殻調査部  
Crustal Dynamics Division, Geographical Survey Institute

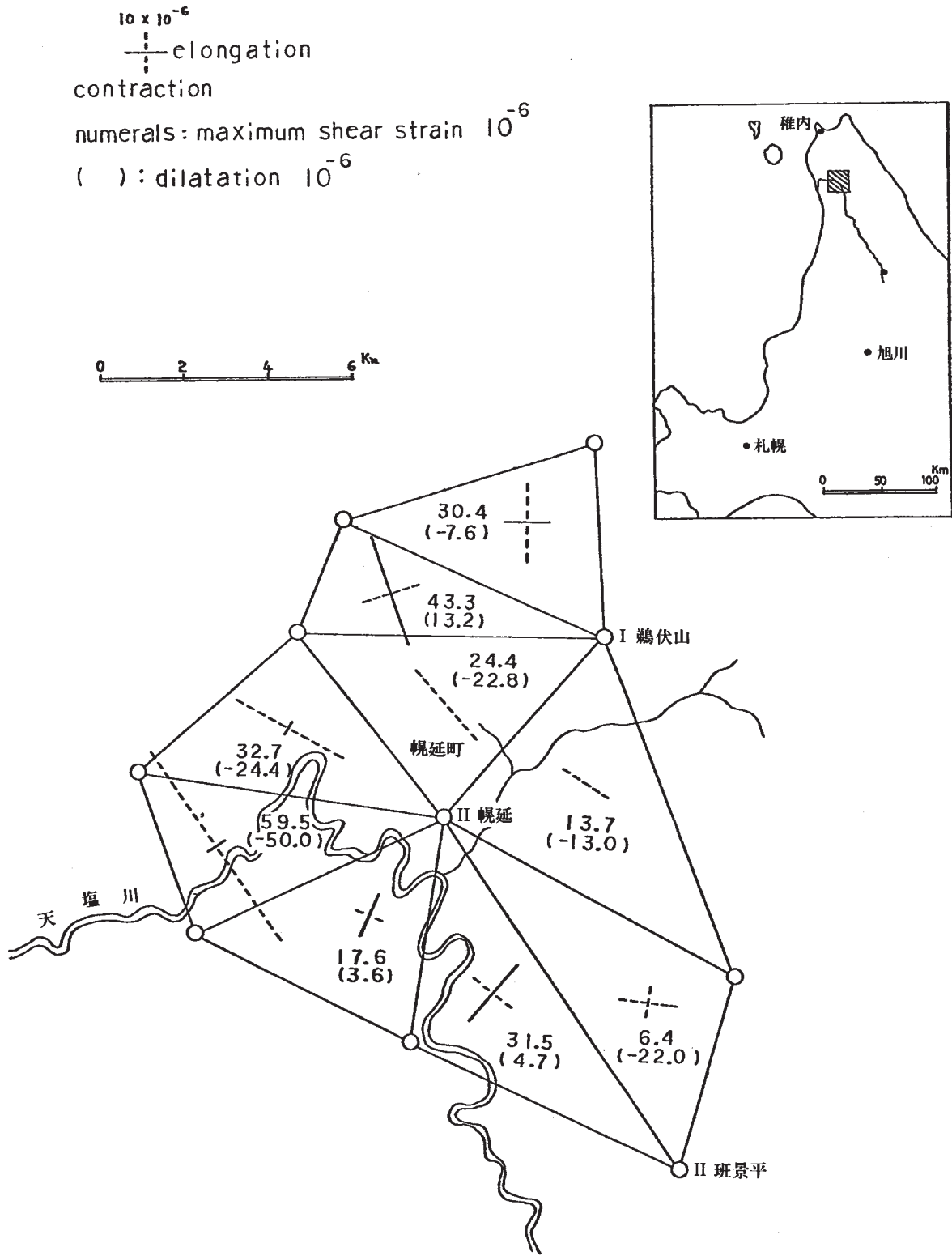
かつて、森谷は、北海道宗谷地方の地殻にはかなりのエネルギーが蓄積されており地震発生の準備段階にあるのではないか、ということを描した<sup>1)</sup>。そのこともあって、北海道幌延地区において、1976年7月より8月にかけて精密測地網2次基準点（かつての3等三角点に相当）の測量を実施した。

結果は第1図に示される。地殻水平歪は、1916年の3等三角測量の観測値を使用し1等三角点鶴伏山・保呂志里を与点として新に網平均して旧成果を求め、これと今回の2次網結果とを比較して算出した。これをみると、2, 3の三角形については大きな蓄積歪がみられるが、旧3等三角形では、ときに観測誤差に由来する大きな歪が算出される場合もあるので、今後とも調査が必要である。

#### 参 考 文 献

- 1) 森谷武男, 北海道およびその周辺の浅発地震活動と北海道北部の地殻活動, 連絡会報, 12, 1974, 7 - 9.

period: 1976 - 1916



第1図 北海道幌延地区地殻水平歪 ( 期間1916 - 1976 )

Fig. 1 The Earth's Horizontal Maximum Shear Strain in the Horonobe District, Hokkaido, Japan (Period 1916-1976).